

平成25年度 南魚沼郡市道徳部活動報告

部長 渡邊 靖

1 研究主題

- (1) 主題名 「心に響く道徳時間の工夫」
- (2) 設定の理由
 - ① 道徳の時間における指導は、児童の心に響き、感動を覚えるような魅力的な教材の開発や活用を図り、創意工夫ある指導が重要と考えた。
 - ② 自分の考えを基に、書いたり話し合ったりするなどの表現する機会を充実させるためには、児童一人一人の心に響く道徳授業が不可欠と考えた。

2 研究の概要

- (1) 南魚沼郡市新教育課程研究集会（伝達講習会）の実施
- (2) 南魚沼市学習指導センター研修講座、東京学芸大学の永田繁雄先生の「新しい道徳教育と今求められる道徳授業」の講演会に参加

3 講習会及び講演会の実際

- (1) 南魚沼郡市新教育課程研究集会（伝達講習会）の実施
 - ① 道徳の教育課程実施上の課題
 - ② 道徳の時間の充実に向け、取組が求められること
 - ③ 学習指導要領の趣旨を生かした取組例
- (2) 永田重雄先生の「新しい道徳教育と今求められる道徳授業」の講演会
 - ① 子どもが生き方の選択肢を広げる道徳教育
 - ② 学習指導要領における道徳教育と道徳の時間の充実
 - ③ 最新の新たな動きをどうとらえるか
 - 教科化の3要素
 - ・主な教材としての「教科書」について
 - ・道徳の時間の「評価」について
 - ・教科になったときの「教員免許」について
 - ④ 豊かな道徳的学びで「生き方」を考える道徳授業
 - ⑤ 道徳の学習指導案作りの手順
 - ⑥ 道徳授業の一層の改善のための3つのポイント
 - 資料の吟味（分析）によって資料全体のもつテーマを浮き彫りにする
 - 発達の特性をとらえて、学年・学校段階で学びの形を変えていく
 - 日常の「場面発問」を大事にしながら「テーマ発問」も少しずつ柔軟に生かす



4 成果と課題

- 南魚沼郡市新教育課程研究集会（伝達講習会）では、「道徳ノートの活用と役割演技で道徳時間を充実させる取組」についての実践例を説明してもらった。交流を図ったり、活用の幅を広げたりする道徳ノートの活用例は大変参考になった。
- 前文部科学省教科調査官の永田繁雄先生の講演会では、学習指導要領の内容から道徳教育の新たな動き、また指導案の作り方、資料や授業づくりにいたるまで大変具体的な内容のお話をしていただきいた。早速授業で生かせる内容であった。

